

3 県民の皆さんからの主なご意見（パブリックコメント）

- 『男女共同参画に関する意識の普及と教育の推進』について、学習機会を提供するためにさまざまな努力をなされていることがわかりました。しかし、男女共同参画社会の実現に不可欠な『県民の自主的な取り組み』に対する考えがやや不十分であるように感じられます。

学習機会を自ら求める県民は今の時点で限られていると言えます。もちろんそれは県民側にも問題があるかもしれませんが、公開している事業がほとんど県民側に知られていません。

現状打開のため、まず県民に対する積極的な広報が必要だと思います。

- 2002年度、2003年度の管理職への女性登用数は、2001年度の40に比して36、33と低下しているし、管理職への女性登用率も2001年度の6.2%に比して5.3%、4.9%と低下している。2004年度の女性登用数は31だから、女性登用率はさらに低下したはずである。これでも2005年度の目標値を一挙にあげて50とはどのようにして決めた目標値であろうか。2003年度や2004年度にもう少し登用できなかったものか。

また、2001年度から2003年度へ、総職員における女性管理職登用率が0.78%、0.71%、0.66%と次第に低下している。女性職員における管理職登用率も4.2%、3.8%、3.6%と同様に低下している。年齢別女性管理職登用率は、特に50代の登用率が5.5%、4.7%、4.5%と低下し、40代に比して低いのが気になる。

多分すでに実施はしているのであろうが、女性職員からのアンケートなどにより、女性職員が自己の才能をよりよく発揮できる職場環境を整えることが重要である。